

令和6年度 第9回美里地域会議 会議録

日時：令和6年12月12日（木）19時～20時15分

場所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、北村 猛志、小林 健一、小林 忠雄、
清水 幸男、中島 康隆、野村 耕一、濱野 敏子、松村 洋、
丸石 敏憲、望月 英光、森口 美代子、吉本 勝
（欠席）岡本 渉、鈴木 智映子、豊田 博久、山本 由和
＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、川瀬主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 提言について（協議）

4グループに分かれて、既存制度では解決できていない高齢福祉の課題とそれを解決するために必要な取組について話し合い、発表した。次回も同じグループのメンバーで協議を継続する。

【Aグループ】

既存制度では解決できていない課題

- ・大きな視点では、「孤立化している」ことが課題。
- ・市の各種制度の情報を知らない。相談窓口が分からない。
- ・自主防災会が機能していない。
- ・制度を知らない原因として、地域で発信する担い手の不足が考えられる。

解決するために必要な取組

- ・人のために自ら行動してくれる人を増やす取組が必要。
- ・各自治区のお助け隊をネットワーク化して、お助け隊のないところもフォローできるようにする。
- ・情報を得られるように勉強会、講習会などを開催する。

【Bグループ】

既存制度では解決できていない課題

- ・各種制度の情報を知らない。既存制度の課題や、苦労している点も知らない。困っている人に制度を紹介し、利用してみようと思ってもらうことが必要。

解決するために必要な取組

- ・個人へ制度の情報を伝えるのは自治区の役割だと思うが、そのための情報づくりやツールを市に準備してもらいたい。制度を利用することに消極的な人にも広く伝える方法を、市と一緒に考えてもらいたい。回覧板で回すだけでは、効果が薄い。

【Cグループ】

既存制度では解決できていない課題

- ・ふれあい収集の制度は、良い制度だと思うが知らない人が多い。

解決するために必要な取組

- ・いろいろな制度を知らない。お助け隊も活躍しているが、知らない人もいるので、もっと周知できるとよい。お助け隊が無い自治区があるのも課題。灯油の移動販売があるが、購入後に家の中へ運ぶことが高齢者だと難しい。生活の中に困りごとはある。近所での声掛けができると良い。

【Dグループ】

既存制度では解決できていない課題

- ・制度はあるが、利用の際に制約がある。
- ・困らないと制度を調べない。困っても相談に行けない人や相談したくない人もいる。
- ・個人情報関係で、自治区が世帯情報を得ることが難しい。東山町自治区では、過去に世帯調査を苦労して行った。その情報が役立っている。
- ・高齢者が困っていることを、地域会議で正確に把握することが困難。美里地区で今後困りそうなことを、想像で考えるしかない。

解決するために必要な取組

- ・豊田市共助交通支援事業にアンケート等の調査支援がある。どこに行くときに困っているのか聞き取るアンケートを地域会議で取れないか。東山町自治区では、祭りのときにバスを出している。コミュニティ会議が行うふれあいフェスタにも拡大したいが、そこまではできていない。

4 事務連絡

(1) 令和6年度 第10回美里地域会議について

- ・日 時 令和7年1月9日(木) 午後7時～
- ・場 所 美里交流館 多目的ホール
- ・その他 資料は年内に発送する。

(2) 次年度の開催スケジュールについて

次年度も、第2木曜日の午後7時からの開催を基本とするが、令和7年8月及び令和8年1月のみ、第3木曜日の午後7時からの開催とする。